

5 新宮町・古賀市・福岡市の現状

人口・面積

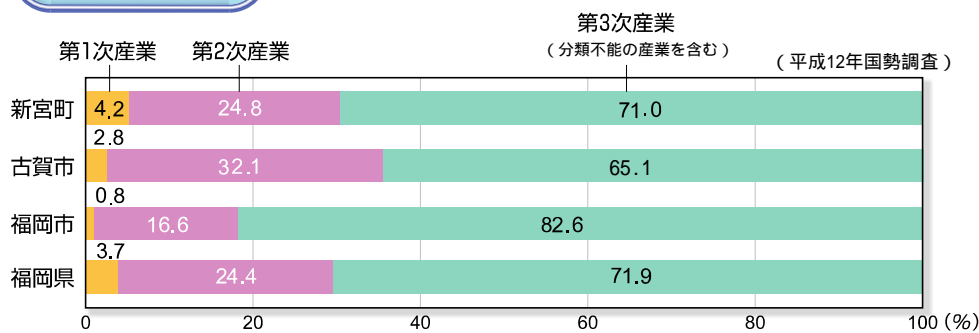
3市町の人口・面積・人口密度（平成17年3月末）

	人口(人)	面積(K㎡)	人口密度(人/K㎡)
新宮町	23,257	18.9	1,231
古賀市	56,038	42.1	1,331
福岡市	1,336,666	340.6	3,931
新宮町+古賀市	79,295	61.0	1,300
新宮町+福岡市	1,359,923	359.5	3,783

注) 面積は平成15年現在

古賀市と合併をすれば、面積61.0 K㎡、人口は 79,725 人となり、県内 26 市中10番目の人口となります。福岡市と合併をすれば、面積358.9 K㎡、人口は 1,359,923 人、人口密度は3倍以上となります。

産業構造



新宮町は、漁業者が多いため第1次産業の割合が大きくなっています。古賀市は第2次産業の割合が大きく、福岡市は第3次産業の割合が80%を超えています。

財政指標

(平成15年度決算)	新宮町	古賀市	福岡市	福岡県(市)	全国(市)
標準財政規模(百万円)	4,500	10,108	325,730	35,476	26,060
財政力指数	0.79	0.61	0.75	0.55	0.68
公債費比率(%)	18.8	15.9	24.2	16.6	15.4
起債制限比率(%)	11.3	6.6	17.6	9.9	10.6
経常収支比率(%)	87.9	86.0	89.3	90.2	87.4
うち人件費(%)	23.4	22.8	20.6	27.5	29.3
うち公債費(%)	21.5	17.4	27.0	19.1	18.2

どの自治体も、福岡県平均に比べれば、比較的財政力が豊かです。特に新宮町は、県内市町村中2番目に高い財政力指数となっています。

標準財政規模：地方自治体が標準的な行政活動を行うために必要な経常的一般財源の総額を表すものです。
 財政力指数：地方自治体の財政力の強弱を示す指標。1.0を超えるとその自治体の収入で行政運営ができるため、交付税が配分されないこととなります。
 公債費比率：標準財政規模に占める、借入金の元利償還費の割合で、この比率が高いほど公債費の償還額が増え、財政に余裕がなくなります。
 起債制限比率：地方債を借入れる際の許可制限の目安となる比率です。20%を超えると制限を受け、事業が困難になります。
 経常収支比率：財政構造の弾力性を示す指標です。一般的に80%以下が望ましいとされます。